廃棄ロスほぼゼロ・企業向けフェーズフリー®備蓄 導入手引書

総合防災プログラム チルそな！
SAT ONE BOSAI 発行

1. 「5年ごとに一括廃棄する備蓄」から「日常循環型」へのパラダイムシフト

従来のオフィス防災は「5年保存の非常食を買い、倉庫にしまい込み、期限が切れたら大量に廃棄する」というコストと手間を抱えていました。フェーズフリー®（日常時と非常時の壁をなくす考え方）を取り入れると、福利厚生とBCPを同じ予算で回せます。

資材・品目	平時（日常オフィスでの価値・福利厚生）	有事（被災・停電時の真価）
主食・レトルト惣菜	残業時の軽食、オフィスランチ補助、定期試食イベントとして日常的に消費。	食べ慣れた味で心理的不安を緩和。水やお湯が不要なものはそのまま開封して喫食可能。
ポータブル電源	テラス・会議室での給電、社内イベント、社用車内の電源として活用。	日常利用で自然放電と劣化を防止。長期保管時は50〜60%で維持し、半年ごとに点検。
調光LEDランタン	リフレッシュルームの間接照明、社内カフェスペースのインテリアとして日常利用。	停電の瞬間、暗闇でも配置場所を熟知しているため即座に点灯でき、パニックを防げる。
水・電解質飲料	来客用のペットボトル、熱中症予防のオフィスドリンクとして定期消費・定期補充。	期限切れの廃棄がほぼゼロになり、常に製造後数ヶ月以内の新鮮な水がオフィスに確保。

2. 長期保管の見直しが進む「循環ローテーション設計」

ステップ	総務の運用アクション	社内コミュニケーション	得られる経営メリット
① 初期導入 START	賞味期限1〜3年の「美味しい一般食品」を3日分選定し、日常導線に配置。	「社内カフェ/リフレッシュ用」として社内告知し自由利用。	**調達コスト削減余地あり（当社試算）**
② 定期消費 ROTATE	賞味期限が残り半年の物資を、福利厚生として無料配布・社内ランチ会で提供。	全社で試食アンケートを実施し人気品を次回補充に反映。	**社員満足度向上と防災意識の日常化**
③ 自動補充 REFILL	消費した数量分だけを定期購入で自動追加（ローリングストック）。	「期限切れ一括廃棄がゼロ」を社内報で共有し協力を継続。	**廃棄ロスほぼゼロ ＆ 総務負担軽減**

💡 **SDGs・CSRの観点：**まだ食べられる食品を大量破棄する体質から脱却し、「食品ロス削減」「地域社会への配慮」を説明できる状態にすると、ESGや企業ブランディングの評価につながる要素になります。

※政府備蓄米の保管期間（現行5年程度）を3〜4年に短縮する案は農林水産省が調整・検討している段階です。本資料は長期保管リスクの問題意識を参照しています。
※「フェーズフリー」は一般社団法人フェーズフリー協会が管理・運営する登録商標です（2014年に佐藤唯行氏が提唱）。

出典：農林水産省「災害時に備えた食品ストックガイド」／各社リチウムイオン電池技術仕様

自社BCPの死角判定 ＆ チルそな！解決ソリューション

3. 自社オフィスの「備蓄運用コスト・廃棄ロス」死角セルフチェック

チェック項目	現状	死角判定
5年ごとに大量の備蓄食品を一括廃棄し、まとまった無駄なコストを計上していないか	☐ 適合 ☐ 未定	コストの死角
乾パンなど「喉が渇く非常食」ばかりで、水なしで食べられる惣菜やゼリーがない	☐ 適合 ☐ 未定	品目の死角
ポータブル電源を倉庫に眠らせたままにし、いざという時に放電・故障しているリスクがないか	☐ 適合 ☐ 未定	機材の死角
防災の点検・期限管理が総務担当者ひとりの孤独な個人負担（属人化）になっていないか	☐ 適合 ☐ 未定	運用の死角

4. チルそな！が提供する4つの解決ソリューション

MENU 01

防災プチ診断

10,000円〜 （オンライン30分）

30分で自社の死角をプロが洗い出す健康診断。現在の備蓄棚卸しとフェーズフリー移行手順をご案内。

MENU 02

備蓄アップデート

要お見積り （選定・調達・運用）

日常使いしながら廃棄ロスを抑えるローリングストックの品目選定と、定期納品フローを一括構築。

MENU 03

セッションP（限界72!!）

100,000円〜 （ワークショップ）

非常食のブラインド食べ比べ大会や『限界72!!』で、社員全員が楽しめる防災イベントを企画運営。

MENU 04 | 最適解決

チルそな！ルーム

月額 10,000円〜 （税抜）

日常業務に負担をかけない循環型ストックの運用定着を顧問型で伴走。期限管理や品目見直しまで支援。

▼ フェーズフリー備蓄の導入・顧問伴走のご相談

👉 **「MENU 04 チルそな！ルーム」または「30分プチ診断」はWebサイトより受付中**

合同会社サットワン（SAT ONE BOSAI） ｜ メール：office@tokyobosai.com ｜ ポータル：https://sat-one-bosai.web.app/

※調達コストの削減率・廃棄コストの規模は品目・人数・更新頻度により変動します。

※本資料は、東京防災情報誌編集部及び合同会社サットワン乾栄一郎に帰属します。転載・引用・二次利用の際は出典の明記をお願いいたします。